

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動アクションプログラムについて

1 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動アクションプログラム 策定趣旨

滋賀県で2024年に開催する、第79回国民スポーツ大会および第24回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた機運醸成を図るため、県民、県・市町および県・市町準備(実行)委員会が行う取組例とスケジュール案を3つの基本目標ごとに示し、県民総参加による『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ』の開催を目指すものである。

2 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動アクションプログラムの構成

(1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動の趣旨

(2) 県民運動アクションプログラムの概要

(3) 県民運動3つの基本目標

- ・基本目標1 「滋賀といえばこれ!」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀!」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- ・基本目標2 いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
- ・基本目標3 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

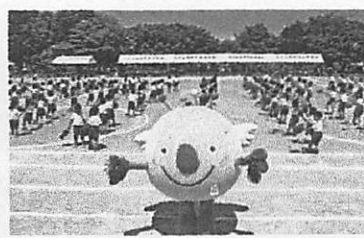
(4) 県民運動推進における各主体の役割

(5) 県民運動推進のイメージ図

(6) 基本目標ごとの取組例

3 県民運動アクションプログラムに基づく今年度の取組

- (1) アクションプログラムの周知にあたっては、多くの方に県民運動に関心を持ってもらえるよう、写真などを交えプログラムの内容を分かりやすく紹介したガイドブックを作製する。
- (2) 具体的な取組としてイメージソング・ダンスの制作や花いっぱい運動の準備に着手する。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響で各種イベントでのPR活動が難しい状況であるが、ラッピングバス・トレインの運行など、大会マスコットキャラクターを活用した広報とSNSでの情報発信に取り組む。





Faint, illegible text or a title at the top of the page.

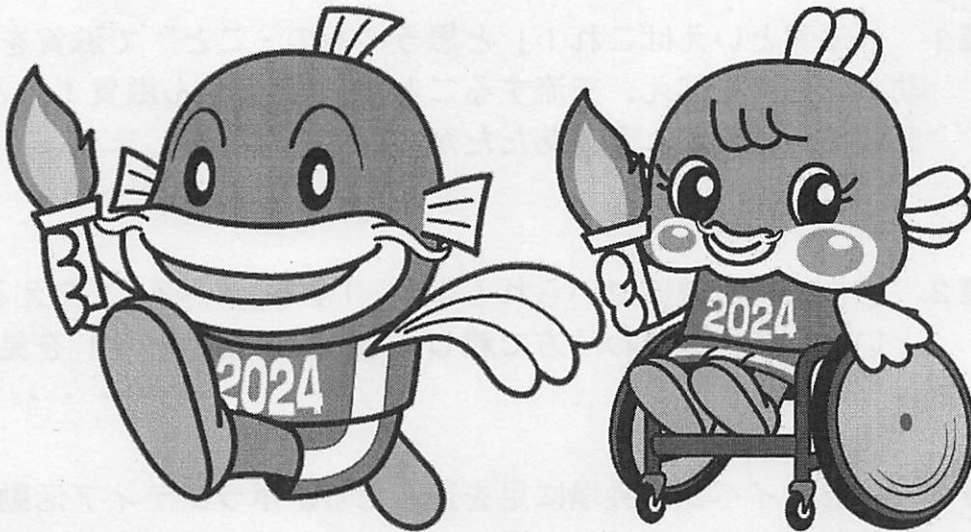
Main body of extremely faint and illegible text, possibly consisting of several paragraphs.

A line of faint text, possibly a signature or a date, located in the lower middle section.





わた SHIGA 輝く 国スポ・障スポ 県民運動アクションプログラム



令和2年(2020年)5月

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
2024



目次

◆わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動アクションプログラムについて

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動の趣旨	1
県民運動アクションプログラムとは	1
県民運動3つの基本目標	1
県民運動推進における役割	1
県民運動推進のイメージ図	2

◆基本目標ごとの具体的な取組について

基本目標1 「滋賀といえばこれ!」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀!」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
..... 3

基本目標2 いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
..... 9

基本目標3 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。
..... 14

◆参考資料

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針	21
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本計画	22

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 県民運動アクションプログラムについて

【わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ県民運動の趣旨】

令和6年(2024年)に開催する第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の県民運動は、県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方(さんぼう)よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。

また、「健康長寿」、「ボランティア活動の年間行動率」など本県が「日本一」である特徴を活かした取組を展開します。

【県民運動アクションプログラムとは】

この県民運動アクションプログラムは、「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針」および「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本計画」に基づき、県民総参加による『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ』の開催をめざし、県民の参加ができるよう、県・市町および県・市町準備(実行)委員会が行う内容と実施スケジュールを示したものです。

【県民運動3つの基本目標】

- 1 「滋賀といえばこれ!」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀!」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- 2 いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
- 3 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

【県民運動推進における役割】

県民の皆さん

○県民一人ひとり

それぞれの立場で、県および県準備(実行)委員会や市町、市町準備(実行)委員会、関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア等が推進する活動に自発的、積極的に参加する。

○地域団体、NPO、ボランティア団体、学校、企業等

県および県準備(実行)委員会や市町、市町準備(実行)委員会と協力し、県民運動の担い手として、普及・啓発を行うとともに、それぞれが連携を図りながら、自主的な活動を積極的に行う。

市町・市町準備(実行)委員会

各市町の実情に応じた県民運動の推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力して、地域の特性に応じた取組を推進する。

県・県準備(実行)委員会

県民運動の全県的な推進計画を定め、普及・啓発活動を行うとともに、市町、市町準備(実行)委員会や各種団体等との連携を図り、全県的な運動の支援を行う。

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2024



県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方（さんぽう）よし」の大会の実現

県民総参加

～県民運動基本方針 3つの基本目標～

- ①「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- ②いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
- ③大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

自発的・積極的な参加、主体的な活動

県民の皆さん、関係機関・団体、学校、企業、NPO、ボランティア等

支援

連携
協力

啓発

【既存の県民運動等】
環境美化活動

連携

【県、県準備（実行）委員会】
全県的な運動の支援

【市町、市町準備（実行）委員会】
地域の特色を生かした取組の推進



基本目標ごとの具体的な取組について

基本目標 1

「滋賀といえばこれ!」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀!」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。

●趣旨

全ての県民が来県者を誠意とまごころを持ってあたたかく迎え、来県者が県民との出会いや交流を通して、楽しみ、参加できる場を提供するなど、心のこもった滋賀の「おもてなし」を全国に伝える活動に取り組みます。

●県民のみなさんの取組例

(1) 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・豊かな自然や歴史、文化、食など、滋賀やわがまちの多彩な魅力を再認識し、訪れる方々に紹介する。
- ・県産の食材について知るとともに、滋賀の食文化を学ぶ。

【会期中に行う取組】

- ・来県者をご当地グルメ、特産品でもてなす。
- ・総合開・閉会式会場や競技会場、大会関連イベント会場等で、滋賀やわがまちの名産品や特産品をPRする。
- ・県内各地の歴史、祭り、文化の普及・啓発を目的とした展覧会などの文化プログラムに参加する。

(2) 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。

【早期から行う取組】

- ・学校や地域で開催される手話などの福祉講座等を通じて障害の特性を学び、障害者理解に努める。
- ・「障害の社会モデル」の考え方を理解し、社会のバリアを取り除く実践として合理的配慮に取り組む。

(3) 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します

【直前に行う取組】

- ・学校や団体で応援メッセージを作成し、県外チームに送る。

【会期中に行う取組】

- ・学校や団体で各都道府県応援団を結成し、競技会場で選手を応援する。

(4) 手作りののぼり旗などで歓迎します。

【直前に行う取組】

- ・手作りののぼりや案内看板、歓迎装飾の製作に参加し、来県した選手団を温かく迎える。

【会期中に行う取組】

- ・手作りの都道府県応援のぼりを作成し、競技会場で国スポ・障スポ選手を応援する。

(5) あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。

【早期から行う取組】

- ・全国から集まる来県者に笑顔でさわやかなあいさつをし、親切丁寧な応対をする。
- ・困っている人を手助けするなどマナーアップに積極的に取り組む。

【直前に行う取組】

- ・県や市が開催するおもてなし講習会等に参加する。

(6) 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・循環型社会づくりや3R活動に参加し、環境にやさしい取組をする。
- ・地域や琵琶湖の環境美化活動に参加し、ゴミ拾いなどの清掃活動を行う。
- ・大会推奨花を育てる他、地域の花いっぱい運動に参加する。

【直前に行う取組】

- ・競技会場や地域など、身近な施設をたくさんの花で飾る。
- ・総合開・閉会式会場や競技会場の清掃活動に参加する。

(7) 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

【早期から行う取組】

- ・地域で実施する交通安全運動や防犯パトロールに参加する。

●市町、市町準備（実行）委員会の取組例

(1) 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・市町が有する豊かな自然や歴史、文化、食などの多彩な地域の魅力を再認識し、県内外に向け情報発信する。
- ・地産地消の取組や、「滋賀の食材」を味わう食育活動を推進する。

- ・ホームページ等で郷土料理やご当地グルメ、特産品を紹介する。
- ・地域の特産品のPRや販売を促進し、全国に発信する。

【会期中に行う取組】

- ・競技会場に、郷土料理やご当地グルメ、特産品によるおもてなしコーナーを設置する。

- (2) 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。**

【直前に行う取組】

- ・市町内の施設のユニバーサルデザイン情報を発信するとともに、誰もが施設を使いやすくなるように施設設置者に呼びかける。
- ・地域の公民館等で障害の体験や手話などの福祉講座を実施する。
- ・各学校に手話講座等の出前授業を推進する。
- ・競技会場施設のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害者が使いやすいトイレ等の整備を促進する。
- ・ユニバーサルデザインの考え方等について、普及・啓発活動を実施する。

【会期中に行う取組】

- ・競技会場に手話通訳者や誘導補助員を配置する。

- (3) 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。**

【会期中に行う取組】

- ・学校や地域と連携して各都道府県応援団を結成し、競技会場で選手を応援する。

- (4) 手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。**

【直前に行う取組】

- ・学校や地域づくり団体等へ取組を依頼する。
- ・競技会場やその沿道などに手づくりの案内看板や都道府県応援のぼりなどを設置する。
- ・競技会場とその周辺を看板、横断幕、花等を活用して、歓迎装飾する。

- (5) あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な対応等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。**

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等を通じて、あいさつ・声かけ、マナーアップ、交通安全、防犯活動等の運動を展開し、市町民への普及・啓発、参加の呼びかけをする。

【直前に行う取組】

- ・おもてなし講習会等を実施する。

- (6) 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。**

【早期から行う取組】

- ・既存の環境美化活動と連携し、推進する取り組みをする。
- ・公共交通機関等を利用する取組（エコ通勤）への参加を促進する。
- ・学校、地域住民、NPO等の団体に、大会推奨花の栽培を依頼し、競技会場等を花で装飾する。

【直前に行う取組】

- ・競技会場や公共施設、観光地、琵琶湖周辺等の清掃活動を実施する。

【会期中に行う取組】

- ・パーク&ライドを実施し、大会期間中のマイカー利用の自粛や交通規制への協力を呼びかける。

(7) 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等を通じて、あいさつ・声かけ、マナーアップ、交通安全、防犯活動等の運動を展開し、市町民の普及・啓発、参加を呼びかける。（再掲）
- ・学校や各団体と協力し、交通安全教室や防犯教室を実施する。

●県、県準備（実行）委員会の取組例

(1) 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・滋賀の豊かな自然や歴史、文化、食などの多彩な魅力を県内外に情報発信する。
- ・地産地消の取組「おいしが、うれしが」キャンペーンや食育活動を推進する。
- ・ホームページや情報誌等で郷土料理やご当地グルメ、特産品を紹介する。
- ・滋賀の特産品をPRし、販売を促進する。
- ・滋賀県産農林水産物の安心・安全の情報を発信する。
- ・様々な広報媒体を活用し、観光情報を発信する。

【会期中に行う取組】

- ・総合開・閉会式会場におもてなし広場（特産品・観光ブース等）を設置するとともに、競技会場のおもてなしコーナーの設置を推進する。

(2) 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。

【早期から行う取組】

- ・滋賀県内の公共施設や宿泊施設等のユニバーサルデザイン情報を発信するとともに、誰もが施設を使いやすくなるように施設設置者に呼びかける。
- ・競技施設のユニバーサルデザイン化を推進するとともに、障害者が使いやすいトイレ等の整備を促進する。
- ・ユニバーサルデザインの考え方等について研修や普及・啓発活動を実施する。

(3) 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。

【会期中に行う取組】

- ・総合開・閉会式で都道府県応援団を結成するとともに、各競技会場で選手を応援する。

(4) 手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。

【直前に行う取組】

- ・手づくりののぼりや案内看板などの製作を支援するとともに、総合開・閉会式会場やその沿道などに設置する。
- ・総合開・閉会式会場や主要駅等とその周辺、観光地を看板、横断幕、花等を活用して、歓迎装飾を実施する。

(5) あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等を通じて、あいさつ、声かけ、マナーアップ、交通安全、防犯運動等の普及・啓発を図る。

【直前に行う取組】

- ・市町や各種団体によるおもてなし講習会等の実施を促進する。

【会期中に行う取組】

- ・主要駅に総合案内所等を設置し、地域情報や観光、おもてなし情報を発信する。

(6) 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。

【早期から行う取組】

- ・琵琶湖一斉清掃や既存の環境美化活動等と連携し、取組を推進する。
- ・公共交通機関等を利用する取組（エコ通勤等）への参加を促進する。
- ・大会推奨花を決定し、試験栽培を実施する。
- ・花育てガイドを作成・配布し、花いっぱい運動を推進する。

【直前に行う取組】

- ・鉄道、道路、道の駅、道路沿線、高速道路 SA・PA などの管理者に協力を依頼し、花で装飾する。
- ・広報誌やホームページ等を活用して、花いっぱい運動に関する情報を発信する。
- ・総合開・閉会式会場周辺の清掃活動、花の装飾を実施する。

【会期中に行う取組】

- ・パーク&ライドを実施し、大会期間中のマイカー利用の自粛や交通規制への協力を呼びかける。

(7) 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等を通じて、あいさつ・声かけ、マナーアップ、交通安全、防犯活動等の普及・啓発を図る。(再掲)

●実施スケジュール案

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
・琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。					
地域資源の魅力を情報発信	→				
食育活動の推進	→				
HP等で郷土料理や特産品を紹介	→				
特産品等のブース設置				→	→
・福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。					
会場のユニバーサルデザイン化の推進	→				
施設や交通機関のバリアフリー情報発信	→				
ユニバーサルデザイン研修、普及啓発活動	→				
・滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。					
温かい応援実施			→	→	→
・手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。					
のぼりや案内看板等制作・設置	→				
歓迎装飾等の実施				→	→
・あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な対応等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。					
おもてなし講習会の実施			→	→	→
観光情報・観光資源の情報発信	→				
・花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。					
推奨花決定、試験栽培、栽培	→				
花育てガイドブックの作成・配布		→	→	→	→
会場・主要交通機関沿線等を花で装飾			→	→	→
花いっぱい運動の情報発信	→	→	→	→	→
既存の活動と琵琶湖一斉清掃等の推進	→	→	→	→	→
・交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。					
交通安全・防犯活動の普及・啓発情報発信	→				
大会期間中の公共交通機関の利用促進				→	→

⇨ は検討・準備期間 → は実施期間

基本目標 2

いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。

●趣旨

国スポ・障スポの開催を契機に県民のスポーツへの関心を高め、子どもから高齢者まで生涯にわたってスポーツ活動に親しむことで、県民の健康づくりを推進し、健康長寿を目指します。

●県民のみなさんの取組例

- (1) デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。
【早期から行う取組】
 - ・地域で開催されるスポーツ教室やスポーツイベントに参加し、スポーツに親しむ。【直前に行う取組】
 - ・デモンストレーションスポーツ、オープン競技に参加し、参加者同士の交流を広げるとともに、参加者みんなで楽しむ。
- (2) 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。
【早期から行う取組】
 - ・障害者スポーツについて学び理解を深めたり、体験イベント等に参加するなどする。
- (3) ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。
【早期から行う取組】
 - ・自分に合ったマイスポーツを見つけ、生涯にわたりスポーツを楽しむ。
 - ・スポーツ少年団活動や運動部活動への参加、学校での体力づくりに取り組む。
 - ・職場、地域、家庭での健康づくりや体力づくりに取り組む。
 - ・家族や仲間と行う「ピワイチ」で、健康づくりや地域の魅力発見を行う。
- (4) 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。
【早期から行う取組】
 - ・滋賀県出身のアスリートの応援に行く。
- (5) 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。

【早期から行う取組】

- ・学校や地域をはじめとするイベントや祭り等において、大会イメージダンスを踊り、楽しむ。
- ・県や市町が実施するイメージダンスの講習会に参加する。

(6) 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。

【早期から行う取組】

- ・全国レベルのパフォーマンスを体感するために競技会場に出かけ観戦する。

【直前に行う取組】

- ・大会ホームページに選手への応援メッセージを送る。

【会期中に行う取組】

- ・競技会場で応援グッズ等を使って、選手にエールを送る。

(7) 地域のスポーツ活動を応援します。

【早期から行う取組】

- ・地域のスポーツチームを応援する。
- ・プロスポーツなどの地元チーム「滋賀レイクスターズ」や「東レアローズ」、「MIOびわこ滋賀」、「オセアン滋賀ブラックス」等の試合を観戦し、応援する。

●市町、市町準備（実行）委員会の取組例

(1) デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。

【早期から行う取組】

- ・公共施設等において、スポーツ教室や各種イベントを実施する。
- ・デモンストレーションスポーツ、オープン競技の競技紹介や体験イベント等の情報を発信する。

【直前に行う取組】

- ・デモンストレーションスポーツを実施する。

(2) 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。

【早期から行う取組】

- ・障害者スポーツの体験会等の情報をホームページ等で発信する。

(3) ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。

【早期から行う取組】

- ・地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室の情報を発信する。
- ・公共のスポーツ施設や学校体育施設の有効活用を推進する。
- ・運動やスポーツの日常化に向けた学校での取組を推進する。

- ・職場、地域、家庭での健康づくりや体力づくりを推進する。
- ・健康づくりに関する講座や運動の機会を提供する。

(4) 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。

【直前に行う取組】

- ・滋賀県出身のアスリートとの交流イベントを開催する。

(5) 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。

【早期から行う取組】

- ・市町のイベントや地域の祭り等で、大会イメージダンスを活用する。
- ・ダンス講習会やダンスイベントへの参加を促進する。

(6) 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。

【直前に行う取組】

- ・SNSやホームページ等で競技会場、競技内容、参加県選手団等の紹介をする。
- ・応援メッセージを募集し、ホームページ等に掲載する。
- ・応援グッズを製作し、配布する。

(7) 地域のスポーツ活動を応援します。

【早期から行う取組】

- ・地域のプロスポーツチームを応援する。
- ・地域のスポーツチームや地域周辺でのスポーツイベント等の情報を発信する。
- ・各種競技会や体験教室など地域のスポーツイベントを支援する。

●県、県準備（実行）委員会の取組例

(1) デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。

【早期から行う取組】

- ・デモンストレーションスポーツ、オープン競技の競技紹介や体験教室等の情報を発信する。
- ・デモンストレーションスポーツ、オープン競技を県民に周知する。

【直前に行う取組】

- ・デモンストレーションスポーツを実施する市町や競技団体を支援する。

(2) 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。

【早期から行う取組】

- ・広報誌やホームページ等で障害者スポーツに関連する情報を発信する。

- ・障害者のスポーツへの参加意欲の向上と機会の充実を図り、安心してスポーツに参加できる環境づくりを促進する。
- ・啓発活動の中に障害者スポーツ体験コーナーを設置する。

(3) ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。

【早期から行う取組】

- ・県内のスポーツ活動の取組等の情報を発信する。
- ・公共のスポーツ施設や学校開放事業の有効活用を推進する。
- ・運動やスポーツの日常化に向けた学校での取組を推進する。
- ・運動部活動の活性化を図る。
- ・職場、地域、家庭での健康づくりや体力づくりを推進する。

(4) 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。

【早期から行う取組】

- ・オリンピック、パラリンピック、世界大会、両大会などに出場する本県ゆかりの選手の情報発信する。

【直前に行う取組】

- ・本県ゆかりのアスリートを招聘し、スポーツ体験イベント等を実施する。

(5) 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。

【早期から行う取組】

- ・イメージダンスを動画映像やホームページ等を活用して普及する。
- ・指導者育成のための国スポ・障スポダンス講習会やダンスイベントを開催する。

(6) 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。

【早期から行う取組】

- ・SNSやホームページ等で競技会場、競技内容、参加県選手団等を紹介する。

【直前に行う取組】

- ・応援メッセージを募集し、ホームページ等へ掲載する。
- ・滋賀県応援グッズの製作や配布を推進する。

(7) 地域のスポーツ活動を応援します。

【早期から行う取組】

- ・県内で開催されるスポーツ大会・スポーツイベント等の情報を発信する。
- ・プロスポーツなどの地元チーム「滋賀レイクスターズ」や「東レアローズ」、「MIOびわこ滋賀」、「オセアン滋賀ブラックス」等の試合、スポーツキャンプ等の情報を発信する。
- ・県内のスポーツイベントや国スポ・障スポ開催競技の体験教室等の情報を発信し、県民の参加を促進する。

●実施スケジュール案

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
・デモンストレーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。					
デモンストレーションスポーツ、オープン競技の情報発信	→				
デモンストレーションスポーツ、オープン競技の実施	⇒				
・障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。					
障害者スポーツの体験や情報発信	⇒				
・ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。					
県内スポーツ活動の取組等の情報発信	→				
公共スポーツ施設等の有効利用の推進	→				
日常的にスポーツができる取組の推進	→				
健康づくり事業の推進	→				
・両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。					
本県ゆかりのアスリートの情報発信	→				
アスリートを招き、スポーツ教室の実施			⇒		
・両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります					
ダンス制作・普及・啓発、講習会の実施	⇒				
・両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。					
SNS等で参加選手団の情報発信	→				
応援メッセージの募集				⇒	
応援グッズの製作・配布の推進			⇒		
・地域のスポーツ活動を応援します。					
地域スポーツやスポーツイベントの情報発信	→				

⇒ は検討・準備期間 → は実施期間

基本目標 3

大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

●趣旨

選手の応援や様々なイベント、ボランティア活動等に参加することで、大会を「する」「みる」「支える」といった関わりを持ち、すべての県民が参加する「県民総参加」による取組を推進し、大会を盛り上げます。

●県民のみなさんの取組例

- (1) ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。
【早期から行う取組】
 - ・ボランティア講習会に参加する。
 - ・ボランティア活動に参加する。
- (2) スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。
【早期から行う取組】
 - ・SNSを使って国スポ・障スポの情報を投稿・拡散する。
【直前に行う取組】
 - ・ホームページやSNSで選手への応援メッセージを送る。
- (3) 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。
【早期から行う取組】
 - ・子どもや家族で、ショッピングモール等で開催されるスポーツイベントに参加する。
- (4) 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。
【早期から行う取組】
 - ・国スポ・障スポをテーマとした体験イベントや写真、ポスターコンクール等に参加する。
【直前に行う取組】
 - ・総合開・閉会式の式典前演技や炬火イベント等に参加する。
- (5) 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。
【直前に行う取組】
 - ・広報や大会のPR活動などのボランティア活動に参加する。

【会期中に行う取組】

- ・総合開・閉会式会場や競技会場等で、受付、案内、会場整理、会場美化、会場サービス、式典運営補助などのボランティア活動に積極的に参加する。
- ・総合開・閉会式会場や競技会場等で、手話、要約筆記などのボランティア活動に参加する。

(6) 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。

【会期中に行う取組】

- ・競技会場で応援グッズ等を使って、選手にエールを送る。
- ・県内選手だけではなく、参加するすべての選手にエールを送る。

(7) 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。

【早期から行う取組】

- ・イメージダンスと併せて、様々なダンスや踊りをやってみる。
- ・イメージソング、イメージダンスを覚えて、両大会の応援や盛り上げに参加する。

(8) 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

【早期から行う取組】

- ・国スポ・障スポへの募金や企業協賛で、大会に参加する。

●市町、市町準備（実行）委員会の取組例

(1) ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。

【早期から行う取組】

- ・ボランティア募集の情報発信をする。
- ・ボランティア講習会を開催するなど、ボランティアの参加を促進する。

(2) スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。

【早期から行う取組】

- ・愛称・スローガン、マスコットキャラクター（キャッフィー・チャッフィー）を活用した情報を発信する。

【直前に行う取組】

- ・広報誌、SNS、ホームページ等で競技会場、競技内容、地域にゆかりの選手を紹介し、選手を応援する。
- ・応援メッセージを募集し、ホームページやSNSで情報を発信する。

- (3) 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。
- 【早期から行う取組】
- ・広報誌、SNS等でイベントの情報を発信する。
 - ・子どもや女性が参加しやすいスポーツ体験イベントをショッピングモール等で開催する。
 - ・女性が参加しやすいイベントを企画・開催する。
- (4) 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。
- 【早期から行う取組】
- ・国スポ・障スポやスポーツをテーマにしたイベント、文化行事等に協力する。
- 【直前に行う取組】
- ・炬火イベントなどを企画・開催をする。
- (5) 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。
- 【早期から行う取組】
- ・競技会運営ボランティア等を募集・育成する。
 - ・ボランティア講習会を開催する。
- 【直前に行う取組】
- ・ボランティア活動マニュアルの作成およびスタッフユニフォーム等の製作や配布を行う。
- (6) 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。
- 【直前に行う取組】
- ・応援グッズを制作し、配布する。
- 【会期中に行う取組】
- ・地域や学校等と連携し、競技会場での観戦や特色ある応援を推進する。
- (7) 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。
- 【早期から行う取組】
- ・イメージソングやイメージダンスに親しむための講座や講習会等を実施する。
 - ・イメージソングの普及やイメージソングを活用した応援を推進する。
- (8) 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。
- 【早期から行う取組】
- ・国スポ・障スポへの募金や企業協賛制度に協力する。

●県、県準備（実行）委員会の取組例

- (1) ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。

【早期から行う取組】

- ・ボランティア募集の情報を発信する。
- ・ボランティア活動への参加を促進し、支援する人材の育成をする。
- ・国スポ・障スポを契機として、研修の実施等により意識啓発を促進する。

(2) スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。

【早期から行う取組】

- ・愛称・スローガン、マスコットキャラクター（キャプフィー・チャップフィー）を活用した情報発信や啓発を実施する。
- ・SNS、ホームページやテレビ、ラジオ、新聞、地域情報誌等の各種メディアを活用して国スポ・障スポの情報を発信する。

(3) 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。

【早期から行う取組】

- ・SNSを使って国スポ・障スポの情報を投稿・拡散する。
- ・子ども・若者参画特別委員会（ジュニア・ユースチーム）による提言を両大会の開催に反映する。

【直前に行う取組】

- ・女性アスリートを講師に招いたセミナーや講座等を開催する。
- ・広報誌等に国スポ・障スポで活躍する若者、女性アスリートのインタビュー等を掲載する。

(4) 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。

【直前に行う取組】

- ・総合開・閉会式の式典前演技等を企画、実施する。
- ・県民が参加できる大会イベント（炬火イベントなど）を企画、実施する。

(5) 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。

【早期から行う取組】

- ・両大会を通じて、ボランティアリーダーの育成を図る。

【直前に行う取組】

- ・大会運営（受付、案内、会場整理、会場美化、会場サービス、式典運営補助など）、情報支援（手話や要約筆記など）、広報（大会のPR活動など）等のボランティアを募集し、講習会を開催する。
- ・ボランティア活動マニュアルの作成や、スタッフユニフォーム等の製作・配布を実施する。

(6) 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。

【直前に行う取組】

- ・滋賀県応援グッズの製作・配布の推進をする。
- ・国スポ・障スポ応援グッズやマスコットグッズを製作・配布するなど、特色ある応援の促進をする。

(7) 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。

【早期から行う取組】

- ・イメージソング、イメージダンスを制作し、普及・啓発を図る。

(8) 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

【早期から行う取組】

- ・国スポ・障スポへの募金および企業協賛制度への協力依頼をする。
- ・寄附付き国スポ・障スポグッズを製作、販売する。

●実施スケジュール案

	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
・ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。					
手話・要約筆記などで障害者を支援	→				
ボランティアの募集	→				
ボランティアの育成、実践活動	→				
・スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。					
SNS等で大会情報を発信・投稿・拡散			→		
マスコットキャラを活用した啓発・情報発信	→				
・子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。					
女性アスリート講座の開催			→		
広報誌等で女性アスリートの情報発信		→			
・開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。					
総合開・閉会式の式典等への参加			→		
大会イベントの企画・実施	→				
・両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。					
ボランティア活動マニュアルの作成等	→				
ボランティア講座の開催		→			
・両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。					
応援グッズの製作・配布			→		
マスコットグッズの製作・配布	→				
・両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。					
イメージソングの製作・普及・啓発	→				
・募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。					
募金や企業協賛制度の構築、募集、協力依頼	→				
募金付き国スポ・障スポグッズの製作、販売	→				

⇨ は検討・準備期間 → は実施期間

平成 30 年(2018 年) 5 月 21 日
第 6 回 常任委員会 決定
令和元年(2019 年) 5 月 17 日
第 7 回 総会 一部 改正

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針

1 目的

第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」といいます。）の開催に向けて、県民一人ひとりが身近なことから関わって、「大会を盛り上げよう！」という気持ちが滋賀県内に大きく広がり、滋賀を訪れる方々をあたたかく迎える人と地域の機運を高めるために、みんなで取組を進めます。

また、大会の開催を契機に、生涯にわたって気軽に親しめる「マイスポーツ」の発見や、その活動を通じて生まれる様々な人との交流の輪を広げるとともに、滋賀の良いところを発信することで自分が住む地域の魅力を再発見し、滋賀を愛するところを育て、その運動が大会終了後も人や地域に定着することを目的とします。

2 基本目標

- (1) 「滋賀といえばこれ！」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀！」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。
- (2) いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。
- (3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

3 運動の進め方

県民の方々や企業・団体のみなさんに運動が広がるよう、県・市町・競技団体はもとより、県準備（実行）委員会の構成員は互いに連携・協働しながら取り組みます。

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本計画

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会県民運動基本方針に基づき、第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の県民運動は、県民一人ひとりが、様々な形で大会に参加、協力し、理解を深めることにより、「県民」・「来県者」がともに満足し、「滋賀県」に将来に渡って引き継がれるレガシーを遺す「三方（さんぼう）よし」の大会を実現するために、以下の取組を推進します。

また、「健康長寿」、「ボランティア活動の年間行動率」など本県が「日本一」である特徴を活かした取組を展開します。

1 取組

(1) 「滋賀といえばこれ!」と思う“もの・こと”で滋賀を訪れる方々を迎え、交流することで、「ええやん滋賀!」と感じてもらえるよう、あたたかいおもてなしをしましょう。

- ・ 琵琶湖を中心とした豊かな自然や歴史、文化、食など滋賀の地域資源でもてなします。
- ・ 福祉先進県として、県民の誰もが、思いやりの心をもって、障害のあるなしに関わらず、訪れる人が快適に過ごせるようもてなします。
- ・ 滋賀県選手はもとより、県外の選手に対してもあたたかな声援で応援します。
- ・ 手作りののぼり旗や横断幕などで歓迎します。
- ・ あいさつ運動やマナーアップ運動を展開し、明るい笑顔で元気なあいさつ、親切な応対等、琵琶湖のようにさわやかにもてなします。
- ・ 花いっぱい運動やクリーンアップ運動を展開し、琵琶湖・河川・道路等の環境美化に努め、きれいな街でもてなします。
- ・ 交通安全運動や防犯運動を展開し、安全・安心に過ごせるようにします。

(2) いつまでも健康でいられるよう、「する」「みる」「支える」といった様々な関わり方で親しめる「マイスポーツ」を見つけましょう。

- ・ デモンストラーションスポーツや会場地市町等におけるスポーツ教室、各種スポーツイベント等に参加します。
- ・ 障害のあるなしや年齢などに関わらず、誰もが楽しめるスポーツに取り組み、交流を通じ、障害に対する理解を深めます。
- ・ ライフステージに応じたスポーツ活動に取り組み、健康長寿日本一を継続します。
- ・ 両大会にゆかりのある、滋賀のアスリート等と交流します。
- ・ 両大会のイメージダンスを覚えて、踊ります。
- ・ 両大会をはじめとする各種競技会などに出かけ、観戦・応援します。
- ・ 地域のスポーツ活動を応援します。

(3) 大会やイベント会場に足を運んだり、ボランティア活動に参加するなどの関わりを通じて、みんなで一緒に大会や地域を盛り上げましょう。

- ・ ボランティア活動の年間行動者率日本一を活かし、障害のあるなしや年齢に関わらず、県民総参加で取り組みます。
- ・ スマートフォン・パソコン所有率日本一を活かし、大会に関するイベント等の情報をSNS等で発信します。
- ・ 子ども・若者・女性の関心を高める広報やイベントを通じて、両大会の参加を促します。
- ・ 開・閉会式など両大会の関連イベント・行事等に参加します。
- ・ 両大会に関するボランティア活動に、積極的に参加します。
- ・ 両大会をはじめとする競技会などに出かけ、あたたかく応援します。
- ・ 両大会のイメージソングやイメージダンスによって、心をひとつにして盛り上げます。
- ・ 募金や企業協賛で、両大会の開催準備・運営を支援します。

2 取組の進め方

- (1) 県準備（実行）委員会は、全体的な計画や取組を定め、この運動の普及・啓発活動を行うとともに、市町準備（実行）委員会や各種団体等と連携し、全県域における運動を展開します。
- (2) 市町準備（実行）委員会は、地域の特性に応じた計画や取組を定め、地域における普及・啓発活動を行うとともに、地域住民や各種団体等と協力し、市町における運動を展開します。
- (3) 学校や企業、NPO法人、各種団体等は、それぞれの活動の中でその特徴を活かした県民運動を企画し、取組を行うとともに、県および市町ならびに各主体の運動に参加・協力します。

3 主な推進スケジュール

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年
	開催内定		開催決定		リハーサル大会	リハーサル大会 大会開催
計画など	基本 県民 計画 運動	ブ ア 県 民 運 動 グ ラ シ ヨ ン ム ン				
関連イベント	開催内定 周知活動		開催決定 イベント		開催1年前 イベント	開催直前 イベント